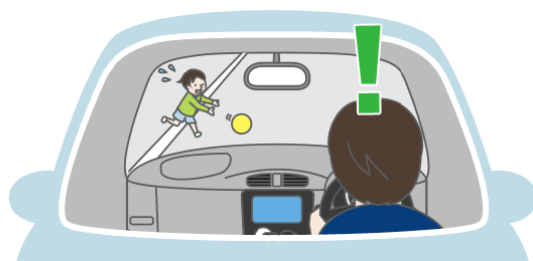
運転するとき

予防安全技術[e-Assist]の過信は禁物！

事故の危険を検知して、被害を予防・回避・軽減できる
先進の予防安全技術[e-Assist]。
しかし、交通、天候、道路状況によっては、正しく検出できないことも。

[e-Assist]を過信せず、交通・天候・道路状況に合った安全な運転を心がけてください。

[e-Assist]は、事故の危険を検知してドライバーに知らせることで、被害の予防・回避・軽減をサポートし、できる限り事故被害を減らすための、先進の予防安全技術。しかし、交通、天候、道路状況によっては、正常に作動しないことがあるので、システムに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。

For Safety 安全のポイント

歩行者などは認識しない

かすれた車線などは検出しない

曲がった道などでは検出しない

POINT 01

交通・天候・道路状況に合った安全な運転を心がける。

予防安全技術[e-Assist]は、交通、天候、道路状況によっては、正常に作動しないことがあるので、このシステムに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。
また、[e-Assist]の[FCM]、[FCM-City]、[ACC]は、前方車両に対して、誤発進抑制機能は前方車両や壁に対して、作動するよう設計されています。いずれの機能も二輪車や歩行者などに対しては作動しません。
詳しくは取扱説明書をご覧ください。

・衝突被害軽減ブレーキシステム[FCM]
・低車速域衝突被害軽減ブレーキシステム[FCM-City]

前方車両をレーダーにより認識し、衝突の危険がある時は、警報や自動ブレーキで衝突を回避、または被害軽減しますが、条件によってその効果は変化し、常に同じ性能が発揮できるわけではありません。
衝突の危険がある時は、システムの作動の有無に関わらず、ブレーキペダルを強く踏むなどの回避操作を行ってください。

・車線逸脱警報システム[LDW]

脇見運転などによるクルマのふらつきに効果的ですが、車線（白線、黄線）がかすれたり、汚れたりして見えにくい時の環境下では車線を検出できない場合があります。

・レーダークルーズコントロールシステム[ACC]

高速道路の長距離渋滞時など、発進・停止を頻繁に繰り返す状況などで運転操作の負担を軽減することができますが、道路状況によっては実際の状況を正確に検知できないことがあります。
また、前方車両が急ブレーキをかけた時や他車が割り込んだ時などは十分な減速ができず、前方車両に接近することがあります。
システムを過信して注意を怠ったり、誤った使い方をすると、重大な事故につながるおそれがありますので、必要に応じて安全を確保してください。

・誤発進抑制機能

前方車両や障害物をレーダーにより認識し、ペダルの踏み間違いと判断した場合は、エンジン出力を抑制して急な発進を防止しますが、網目状のフェンスやガラスの壁面（ガラスドア/ショーウインドウ）など、障害物の種類によっては作動しません。
また、ブレーキをかけて車両を停止させる機能はありません。システムに頼った運転はせず、アクセル操作には十分注意し運転してください。

三菱自動車お客様相談センター
0120-324-860 オープン時間：9 時～17 時（土日 9 時～12 時・13 時～17 時）
※050～で始まる番号など、一部の IP 電話からはつながらない場合がございます。